

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	コンピュータリテラシー		
英文授業科目名	Computer Literacy		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-		
開講学科・専攻	電子工学科 量子・物質工学科		
担当教官名	田中 久陽		
居室	西8-818		

公開E-Mail	授業関連Webページ
htan@synchro3.ee.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>(a) 主題： 本学の情報処理センターにおいてPCを使用しながらコンピュータの基礎的，実践的使用方法を学ぶ。</p> <p>(b) 達成目標： UNIX Systemの基本的コマンド，エディタなどの使用方の理解，電子メール，文書作成，グラフィックソフトウェア，ネットワークに関するソフトウェアなどの使い方の修得。</p> <p>(c) 学習・教育目標との対応 IT活用能力：80%，継続学習能力：10%，技術者倫理：10%</p>

【前もって履修しておくべき科目】
特になし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし

【教科書等】
<p>「UNIX入門演習」（コロナ社）越智裕之著 もしくは 「UNIXコンピュータリテラシー」（共立出版）</p>

渡辺成良, 若月光夫, 織田健 / 共著

【授業内容とその進め方】

パスワードの管理, ログイン/ログアウトの仕方の徹底
Muleを使用して, 日本語で自己紹介の文を書き電子メールで送ること
電子メールの返信を受けとること
UNIXのファイルシステムと基本コマンド
エディタ (Mule) によるテキスト編集
電子メールとネットニュース
図や画像の編集
インターネットに関する学習
文章作成ツール (LaTeX)

注意事項: 上記の項目について, 段階を経て簡単な使用方法から複雑な使用方法まで
順序立てて説明していくので, 1回欠席するとそれ以降の演習が困難に
なることがあります. どうしても欠席しなければならない時は連絡して下さい.

予習、復習は講義のホームページの内容を必要に応じ行うこと.

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

- (a) 評価方法: 演習課題の達成度および出席状況を考慮して成績を評価する.
- (b) 評価基準: 最低基準は演習課題の達成度と出席状況の各々で

満点の60%の評価点を得ることとする.
すなわち、上記授業内容の項目6割の習得が最低基準.

【オフィスアワー: 授業相談】

特に設けない. 質問等は電子メールで受け付ける.

【学生へのメッセージ】

UNIX Systemは慣れるまで少し我慢が必要です.
慣れる為の努力は後に必ず報われるので頑張ってください.

電気通信大学 平成20年度シラバス

【その他】